令和７年度

大阪大学
総合型選抜・学校推薦型選抜
解答例又は出題の意図

小論文（L）

本年度は、問題文に記された考えを正確に理解したうえで、自分自身の考えの言語化、さらに問題文の議論を踏まえた自身の見解の提示を求めることで、論理的な思考力と文章による表現力を問うことを主な目的とした。問題文は、戦後日本での家族の変化がいかに住居の変化と相関しているかを、特に家庭における女性の位置に着目して論じている。問一では、受験者の抱く印象を問うことで、自らの考えを他者に理解可能なかたちで言語化する能力を見た。問二では、自身の見解を論じるための始点として、著者の主張をその論理構造に基づいて理解する能力を問うた。問三では、問二で要求されている問題文の把握を前提にしつつ、現代社会に対して受験者が批判的な視点を持って論理的な議論をおこなうよう求めることで、単なる問題文の読解に留まらない、より主体的な議論展開の能力を見た。